

2008-1-3 17:32

あけましておめでとうございます。  
電子政府推進員の皆様、  
総務省の担当者様ほかこの meeting room をごらんの皆様

新年あけましておめでとうございます。  
本年もよろしく願い申し上げます。

2008年が明けました。ねずみ年ですから、丑寅が終わり、事業年度から言うと、ウサギ年の3月末で電子政府の2010年50%のゴールです。2010年まで残すところ3年。50%の利用率は果たして達成できるのでしょうか？今後「鼠算」式に増加させないと、達成は難しいですね。

今年も税理士会では電子申告推進に向けていろんな施策を講じていくと思います。しかしながら、いくら私どもが必死になっても、肝心の行政側が動いていただかなければ、亀に抜かされることになりそうな、そんな焦りを感じてしまいます。「鼠の尾まで錐の鞘」の精神で、電子申告推進員ほか使える人材を大いに活用していただきたいと思います。

確かに、年末に司法書士の●●さんをご発言いただいているように、いま時使えないソフトを提供する業者など損害賠償ものです。これは、電子申告におけるe-Taxソフトにも言えることであって、使い得ないようなソフトを莫大な予算の中で作成して、それで電子政府を目指すのは「大山鳴動して鼠一匹」の世界です。最初から収穫は望めないでしょう。

アウトソーシングがこれほどに方向性が持たされているのですから、民間業者に競争で開発させて、ちゃんとした評価の得られたものを作成したら補助金等で補うなどの制度にしていかないと、どうも、IT業者さんたちに国はカモられてしまうようです。「頭の黒い鼠」排除しましょう。IT業者の方々を政策で「袋の鼠」にして、「窮鼠猫を噛む」ことのないような状態にしたいところです。

2008年が電子政府構想の飛躍の年になることを祈ります。